

サーバストレージ

1. 概要

サーバストレージは各個人の V-Campus のホームディレクトリ・Web サーバのコンテンツ領域等のファイルデータの保存先から、V-Campus で使用している様々な仮想サーバ（SPIRIT、授業支援システム等）の OS データ、システムデータの保存先、及び仮想サーバが動作するハイパーバイザーを有するシステムである。

2. 利用状況

(1). 2023 年度末のストレージの利用状況

- ① NAS 領域の使用量 : 約 39 TB
- ② 仮想サーバ領域の使用量 : 約 62 TB
- ③ QNAP 上のデータ使用量 : 約 53 TB
- ④ NetApp 上のデータ使用量 : 約 2 TB

(2). 2023 年度末のサーバ利用状況

- ① 仮想サーバ数 : 352 台（内稼働 281 台）

3. 2023 年度のまとめ

2023 年度は 2022 年度にストレージ容量を倍増したことで安定していたが、メモリを必要とする仮想マシンが増えたことでメモリ使用率が圧迫する状況となり、ハイパーバイザーのメモリ拡張を実施した。

バックアップについては仮想サーバの台数も増え容量的に逼迫した状況が継続していたが、Blackboard のサービス停止を受け大幅に確保された。

NAS 使用量について Blackboard のデータ使用容量と他システムへのデータ連携用ストレージ容量確保のため大幅な増加があったが、仮想マシン停止に合わせ大幅に削減できる見込みとなっている。そのため NFS サービスを提供している領域について、前年度導入した NetApp への移行により着手できる見込みが立った。

NetApp については NFS サービスをメインに 2024 年度にかけてデータの移行と切り替えを実施していく予定である。